

おもしろ人立

めだかの学校だより

平成9年2月1日
第15号

校長訓話

第十五回校長

本島慎一郎

地域づくりは「めだかの学校」

建学のつとめのすすめ



私どもサンクラブは地元北遠と長野県南信州、愛知奥三河を結ぶ山間地域を食文化の構報発進基地にしようとして、「三遠信フットピアネットワーク」構想を打ち出した。構想は、三遠信フットピア王国の設立。オリジナル商品の商品の全国発信。観光のネットワーク化だ。取りあえず、「出来ることから始めよう」を合言葉に、自然食を扱っているお店を紹介する、「ドライブマップを作成しました。第一号は「フットピア北遠」。第二弾は、「三遠南信ドライブマップ」として、片面が静岡、愛知、長野三県境付近の名所や宿泊施設、ガソリンスタンドなどの位置が分かる地図。もう一方の面は一号同様、山の幸を扱ったお店など十カ所を紹介しました。また、「ドライブマップ」に掲載した情報は、「三遠南信地域整備連絡会議」が開設したインターネットのホームページ「星空のキャンパス」で紹介されています。是非、覗いて見てください。

第三弾は、都市側の人達でも迷わず

にドライブが出来る、空の上から見た分かりやすいロードマップを作ろうと考えています。

三遠信山岳都市研究会では、日本山村開発研究センターの設置に向けて努力中です。近い内により知らせが出来ればいいなと思っています。

さて、先日の「地域学フォーラム in いなさ」に出席の皆さんご苦勞様でした大変盛り上がったフォーラムであったと思います、関京子さんの「地域の文化を大切に地域づくりを」など、「めだか」があっちこちで活躍している姿は、頼もしい限りでしたもう一人のあななた発掘を目指して「めだか菌」の培養に成功したと思えます。地域づくりは、「おもしろ人立めだかの学校」建学のところが基本に流れていることが肝要です。こうした「めだか」の精神は、変化する社会の中にある信じています。

宿題を出します。あなたが、砂漠の中を、ライオン・うま・猿・ひつじ・うしをつれて旅をし、一匹づつ捨てていくとしたら、どういう順序で捨てていきますか？順番を付けなさい。三月の学校までに考えてきなさい。

三遠南信山岳都市研究会事務局

サンクラブ会長

吠えました。燃えました。感動しました。

伊藤茂男

「三遠南信地域フォーラム in いなさ」元気印の風の人、真からふるさとを愛したたかに生きる土の人、その土に魅せられて定住した新土の人、こんな人達をあたかく包んでくれる地域の女性たち（雨の人とでも言いたい）が一堂に会し、一月二十三日、二十四日の二日間、引佐町の奥山方広寺に於いて「吠えろ、風の人、土の人」をテーマにフォーラムが開かれた。今回のねらいは「結論を出すプラス志向の前向き討論会」。分科会の中でも本音の具体例が述べられ、論議は午前2時頃まで続いた。石川静岡県知事の記念講演も行われた。知事はその中で「洗練された田舎風・少量生産でいいから、そこへ行かなければ手に入らないもの。地域の中ではその良さが分からない。風の人の情報を大切に」など、おだやかな口調の中にも、農山村に寄せる期待を熱く説かれていた。「農山村からのメッセージ」では、めだかの生徒、関京子さんが登場。「山間地の厳しい生活で切羽詰まった中から特産品が生まれた。一生懸命生きる事が多くの地場産品を作り出した」と訴え、参加者の感銘を受けた。

十の分科会では、それぞれ今回からでも行動できそうな提案が多く、「感謝の心が高齢者を元気づける。今回から手を合わせ感謝の行動をおこそう」「伝統芸能や文化の伝承は、危機状態である。広域的な支援組織を創ろう」など前向きな発表が目立った。私の参加した「地域で支えるゆいの福



祉」では、三遠南信地域の都市、農山村の子供からお年寄りまで楽しく交流の出来る「ふれあいの里」づくりを提案。農林業の中で生き生きとした福祉文化の創造を目指そうと結論づけた。

奥山観光協会の竹酒、焼き椎茸、引佐町商工会のキジ鍋やキジ肉の味噌焼き、町おこしグループほいさっさの鶏肉と卵を炭火で焼いた親子焼きなどが添えられ、大好評であった。この二日間のフォーラムに参加した「めだかの生徒」は四十人余り、参加者

のジョイント役として大活躍。ちっちゃなメダカ達が大きな役割を果たした。「皆さん、ふるさととは大切にしたい。ふるさとを失った私だから余計に良さが身にしてみる。良いふるさとには良い人が集まり、みんな元気で幸せな生活が出来るのです」閉会直前、ダム建設のため集団離村した岐章県徳山村出身の写真家、増山たづ子さん（八四歳）の言葉が印象的であった。

地域学フォーラムに参加して

加茂光廣

寒中早朝の座禅1時間の長さば四七才にして初体験。四月から脱サラし「人と植物ふれあいコーデイナー」として新しくスタートする私にとつて、身も心も洗われる素晴らしいひと時だった、方広寺という場もあって、二日間とも襖とした空気の中で予想以上の収穫があった。即実践できるいくつかのヒントも得られ、何より掛けがえのない人脈が新たに広がったことは嬉しい。いろいろなフォーラムにありがちな「うりいっぺんの形式的なものでなかったのは「めだかの学校」4年目の実力がかなり影響しているのはあるまいか。

いつばい来ました

服部守孝

「地域学フォーラム in いなさ」の参加人数は二百九十九名で、学会からの参加者は六十三名、行政から九十二名、地域団体が

ら七十六名、引佐町内から六十八名である。参加者を地域別にみると東京、熊本、三重、岐阜、愛知、長野、そして地元静岡の人達であった。このように多くの人達が町づくり、町おこしにかけて意見を言い、多くの話に耳を傾け、熱の入った意見交換をして、結論を出した実り多き会であった。

※Ⅱ内容の数字は、申込書による申込者だけです。二日前に申込んで断られた人もあります、当日会場で受付した方もあり、私の落としただけでも六人ありました。三百人をだいぶ越しております。

(榊原)



引佐町方広寺での研修の折には、大変お世話になりました。役場から依頼を受け、軽い気持ちで連れて行ってもらったのですが、出席して大変勉強させられました。本当に行って良かったと思いついて参りました。出席された皆様のパワーを沢山いただき、ありがとうございました。力のない私ですが、交流会で知り合えた皆様とのお縁を大切にしていきたいと思えます。

注Ⅱ下伊那郡泰阜村より物品を持って参加。次回より入学致します。よろしくお願います。

やすおかの味売り込み隊
アツブルシスターズ 船下紀子さん

素晴らしいがった地域学フォーラム

高熱をおしてメッセージを努められた天龍村の関さんの、「長野のお母さん！行くからね」と駆け付けつけてくれた熊本の方（山代さん）がいるというお話に、感動して涙ぐむ思いでした。おばあちゃん写真家の塩山たづ子さんと同席させて頂いた分科会パート1では、思わず「私も、こんな年寄りになりたい」と言ってしまうくらい。私たち、土のめだか、風のめだか、今後も大いに交流し、活動し、吠えましよう。

船本芳隆

各地の祭りだより

- ◎愛知県北設楽郡東栄町
布川の花まつり三月一日二日
四十種類の舞が夜を徹して行われる。神人和合・五穀豊穰・無病息災を祈る祭事
芸能
- ◎小笠郡大領賀町
三熊野神社大祭四月四・五・六の三日間
子授け安産神社
特一本調子の横笛のお囃子にのって練り歩く。
- ◎磐田郡水窪町
西浦田楽 二月二十五日夕方
から夜を徹して舞う。
- ◎長野県下伊那郡天竜村
三十三観音祭り(中井侍地区)
三月二十日
大河内鹿追い行事 池大社
四月九日昼から
- ◎引佐郡三ヶ日町
おんそ祭り初生衣神社
(遠州織物の発祥の地Ⅱ織物祭り)
四月十三日
- ◎引佐郡引佐町
奥山さくら祭り 四月一日〰奥山公園他
いなさ自然体養村『つみくさ』五周年記念
念四月末日まで
フリーマーケット、野草を食べる会など
各種イベント企画(乞うご協力を！)
- ◎引佐郡細江町
歯の神様の歯と歯ブラシの供養祭
三月二日 光明神社
姫様道中 四月第一週土・日都田川堤防
- ◎周智郡春野町
春野天狗祭り
四月第三日曜日 役場周辺(予定)
- ◎磐田郡佐久間町
佐久間桜まつり
四月六日佐久間ダム周辺
- ◎長野県下伊那郡浪合村
浪合神社の春まつり
四月二三・二四日
- ◎磐田郡豊岡村
豊岡梅園開園
二月九日〰三月中旬上野部
- ◇各地と各自の情報を掲載します、四月二日までに郵送で
- ◇次回の『めだかだより』は五月一日です



湯布院たより

大分県大分郡湯布院町・湯布院の溝口久生徒から

寒中お見舞い申し上げます。

由布岳が薄く雪化粧。ここ湯布院では、週一ペースで雪が積もっては解けの繰り返しです。

さて、湯布院では、中谷健太郎氏企画のゆふいん流グリーンツーリズムあり様として、”ゆふいん親類クラブ“を模索しているところです。

そこで、下記のとおり、出会いのフ本一ラム“97”を開催いたします。

浜美枝さんの講演、親類クラブモニターメンバーによる集団見合いとか、おもしろく…「人・モノ・地域をつなぐ親類クラブ」を考えてまいります。

どうぞお仲間お誘い合わせの上、お越し下さいますようご案内申し上げます。

なお、宿泊される場合は、私の方で宿を紹介させていただきます。

お返事お待ちしております。

寒さ厳しき折、くれぐれもお身体を大切にお過ごし下さい。

ゆふいん親類クラブ「出会いのフ本一ラム“97”

日時 2月25日(火)

12時30分～18時ころまで

場所 湯布院町中央公民館

※2時からの基調講演は、浜美枝さん、

3時45分からのセッションには、浜美枝さんをはじめ、今村奈良呂氏(日本女子大教授)中谷健大部氏、竹内正敏氏(みるく村助役)



第六回地域づくり団体全国研修交流会

第六回地域づくり団体全国研修交流会が、2月14日(金)15日(土)の2日間にわたって焼津市を主会場に開催される。この大会は、全国の47都道府県に地域づくり団体協議会があり、それぞれの協議会に加盟している地域づくり団体の研修交流会です。1年に2回開催され、めだかの学校からは、2回の岐阜県、3回の新潟県に参加をしています。

今回は、しずおか未来づくりネットワークの一員として、10の分科会の一つ『交流』を担当しています。めだかの学校からは、特別教室の伊藤茂男校長をはじめ、24名の生徒が参加します。また大須賀町横須賀倶楽部、藤枝未来塾らの参加者を数えればもっと増えます。

日程は、14日12:00の受付から基調講演、全国の事例発表、太ミュージカル上演、19:00松風閣に会場を移して交流会、各団体ブースを設けて積極的にアピールします。2日は、焼津、藤枝、岡部、大井川町に分散して分科会を行います。

13時解散、めだかの生徒は新生徒を連れて、17:30より、わが学舎での特別教室に出席します。

何人の生徒を連れて来るか、めだかの力量が問われるところです。